

東北学院大学 Microsoft365Apps 利用者マニュアル

# Office Microsoft 365 Apps

## 利用者マニュアル

第 33.00 版/2024.4.12

情報システム部情報システム課

1. Office Microsoft 365 Apps のサービス内容と利用上の注意.....	- 2 -
1.1. サービス内容.....	- 2 -
1.2. 利用対象者.....	- 2 -
1.3. 利用上の注意事項.....	- 2 -
1.4. 禁止事項.....	- 3 -
1.5. 免責事項.....	- 3 -
2. デスクトップ版の Office アプリのダウンロード (Windows PC、mac 共通) .....	- 4 -
3. デスクトップ版の Office アプリのインストールと初期設定 (Windows PC) .....	- 7 -
3.1. デスクトップ版の Office アプリのインストール (Windows PC) .....	- 7 -
3.2. デスクトップ版の Office アプリのライセンス認証 (Windows PC) .....	- 9 -
4. デスクトップ版の Office アプリのインストールと初期設定 (mac) .....	- 11 -
4.1. デスクトップ版の Office アプリのインストール (mac) .....	- 11 -
4.2. デスクトップ版の Office アプリのライセンス認証 (mac) .....	- 16 -
4.3. Office アプリのダウンロードとインストール (タブレット、モバイル) .....	- 18 -
4.4. ChromeOS (ChromeBook) での Office アプリの利用について .....	- 18 -
5. <参考情報>トラブル対応集.....	- 19 -
5.1. デスクトップ版の Office アプリ (Windows PC) の再認証ができない.....	- 19 -
5.2. Microsoft365 の WEB サイトでブラウザの「戻る」機能利用時の動作について.....	- 22 -
5.3. OneDrive の同期に関する問題について .....	- 23 -
6. <参考情報>その他.....	- 24 -
6.1. Window 11 のローカルアカウント作成 (追加) .....	- 24 -
6.2. Window 11 のローカルアカウント作成 (新規) .....	- 27 -
6.3. Office のインストールを非アクティブにする.....	- 34 -

## 1. Office Microsoft 365 Apps のサービス内容と利用上の注意

### 1.1. サービス内容

学校法人東北学院はマイクロソフト社と包括ライセンス契約（EES）を締結しており教職員、および、学生向けの特典（Student Use Benefit）により学生は Microsoft 365 Apps を利用できます。

#### ■Microsoft 365 Apps

デスクトップ版 Office アプリ (Windows PC と mac)	Outlook、Word、Excel、PowerPoint、OneNote (Access と Publisher は Windows PC のみ)。
OneDrive	ファイルを保存して共有するための OneDrive クラウド ストレージ 1 TB (ユーザー 1 人あたり)。
インストール可能な台数 ※公費購入、私用購入共に利用可	PC : 5 台 (Windows PC/Mac) タブレット : 5 台 (Windows/iPad/Android) モバイル デバイス : 5 台 (iPhone/Android)

※PC アプリ版、モバイル・タブレット版、パッケージ版 (Office2021 等) で機能が異なります。

※本サービスはクラウドサービスであるためサービス内容の仕様変更が発生する場合があります。

※このサービスを利用するための各種デバイスの動作条件 (システム要件) は、参考サイトをご確認ください。

<参考サイト: Microsoft 365 Apps for business>

<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/business/microsoft-365-apps-for-business>

### 1.2. 利用対象者

東北学院統合認証アカウントを保持する 本学の教職員・学生 (全ての学部学生・大学院生等)。

#### ■学生

本院発行 Microsoft アカウント	[統合認証アカウント]@m.tohoku-gakuin.ac.jp
----------------------	-----------------------------------

#### ■教職員

本院発行 Microsoft アカウント	[統合認証アカウント]@m.tohoku-gakuin.jp
----------------------	--------------------------------

### 1.3. 利用上の注意事項

- 契約変更により本サービスは廃止となる場合があります。
- 本サービスは、在籍している期間のみ利用可能です (ライセンス上、猶予期間等は一切ございません)。卒業/退職等により統合認証アカウントが無効となった場合は、無効となった日より利用できなくなります。
- Microsoft 365 Apps は、オンラインライセンス認証機能を利用するため、利用するデバイスは少なくとも 30 日に 1 回はインターネットに接続する必要があります。

<参考サイト 2 : Microsoft 365 Apps でのライセンスとライセンス認証の概要>

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/deployoffice/overview-licensing-activation-microsoft-365-apps>

- 大学で利用する BYOD (必携 PC) の Windows OS ログイン用ユーザーは、Microsoft アカウントと

ローカルアカウントのいずれかを利用者の任意で選択ください。なお、大学発行 Microsoft アカウントを、個人 PC の Windows OS ログイン用ユーザーとしては利用しないことを推奨します。これは卒業／退職等で統合認証アカウントが無効となった際に、個人 PC であってもそのユーザーの利用ができなくなるためです。

※Microsoft アカウントは、大学発行だけでなく、特定のライセンス利用や個人無償作成したもの等、個人で複数保持している場合がありますので、ご自身で使い分けてご利用ください。

問合せ実績として、Windows OS ログイン用ユーザーはローカルアカウントであった場合、トラブルが少ない傾向があります。

- 大学発行の Microsoft アカウントは、Office アプリと OneDrive の利用を目的としております。  
※就職活動等で Teams や Skype の利用を希望する方は、個人で Microsoft アカウントを別途用意した上で、ご利用ください。  
※Outlook アプリの利用はできますが、大学発行の Microsoft アカウントはメールアカウントとしてはご利用できません。
- デバイスに Office がプレインストールされている OEM 版、Microsoft 365 Personal (旧 Office 365 Solo) 等をご利用の方は、既存 Office を利用するか、Microsoft 365 Apps を利用するか、ご自身の判断および責任の元、インストールを行ってください。
- 本サービスの利用にあたっては、東北学院大学 IT ナビの利用案内（サイトポリシー）の免責事項をよく読み、同意の上利用してください。本サービスを利用された場合は本免責事項の内容をご承諾いただいたものとさせていただきます。

#### 1.4. 禁止事項

---

- Microsoft アカウントを他人に使用させること。

#### 1.5. 免責事項

---

- Microsoft 365 Apps の利用に伴って生じたあらゆる損害等について一切の責任を負いかねます。特に、既存 Office のアンインストール前の環境への切り戻しを本学にて実施すること、およびその操作をサポートすることは致しかねますので、利用者の責任において事前に復元方法を確立した上でご利用ください。
- 本サービスは、Microsoft 社が提供するクラウドサービスの機能であるため、サービス提供元の仕様変更、不具合、障害等に関するトラブルなどは、東北学院大学および学校法人東北学院は一切責任を負いかねます。これらのことを踏まえ本サービスの利用を指示する教職員は、本サービス以外の代替案を検討しておく、または、それらのリスクを許容した上で利用指示を出してください。

**2. デスクトップ版の Office アプリのダウンロード (Windows PC、mac 共通)**

本章は、Windows11 の Chrome 画面を使って説明します。

<p>1) ブラウザを開き、東北学院大学 IT ナビサイトを検索します。</p>	 <p>主要なブラウザアプリ</p> <p>新しいタブ</p> <p>Google で検索するか、URL を...</p> <p>Google</p> <p>Google で検索または URL を入力</p> <p>Tohoku Gakuin... Google ウェブストア ショートカット...</p> <p>&lt; 東北学院大学 IT ナビ : <a href="https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/itnavi/">https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/itnavi/</a> &gt;</p> <p>&lt; DL サイト直接リンク (1)-(3) 省略 : <a href="https://portal.office.com/">https://portal.office.com/</a> &gt;</p>
<p>2) 「東北学院大学 IT ナビ   ーTG で使える IT サービスー」をクリックします。</p>	 <p>tgu itnavi - Google 検索</p> <p>google.com/search?q=tgu...</p> <p>tgu itnavi</p> <p>約 61,300 件 (0.25 秒)</p> <p>東北学院大学</p> <p><b>東北学院大学 IT ナビ   ーTG で使える IT サービスー</b></p> <p>無線接続サービス: TGWiFi</p> <p>サイトマップ</p> <p>Eduroom アカウント発行</p> <p>Microsoft 365 Apps</p> <p>IT 情報ナビ</p>

3) 東北学院大学 IT ナビサイトの TOP ページに表示されている、「Microsoft 365 Apps Office インストール」と表示されているバナーをクリックします。

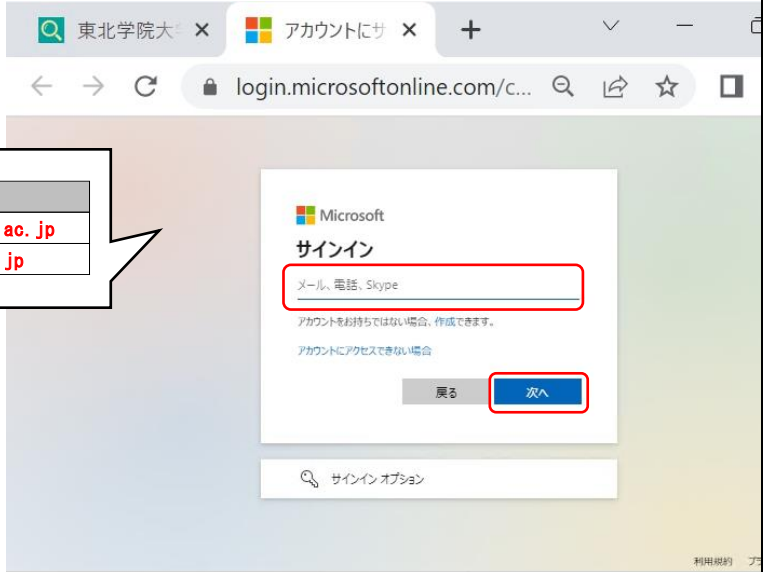
※画面サイズによって、画面をスクロールしないと表示されない場合があります。



4) 大学発行の Microsoft アカウントを入力し、[次へ]をクリックします。

利用区分	本学発行Microsoftアカウント
学生	{統合認証アカウント}@m. tohoku-gakuin. ac. jp
教職員	{統合認証アカウント}@m. tohoku-gakuin. jp

※すでに認証済みの場合、サインイン画面がでない場合があります。

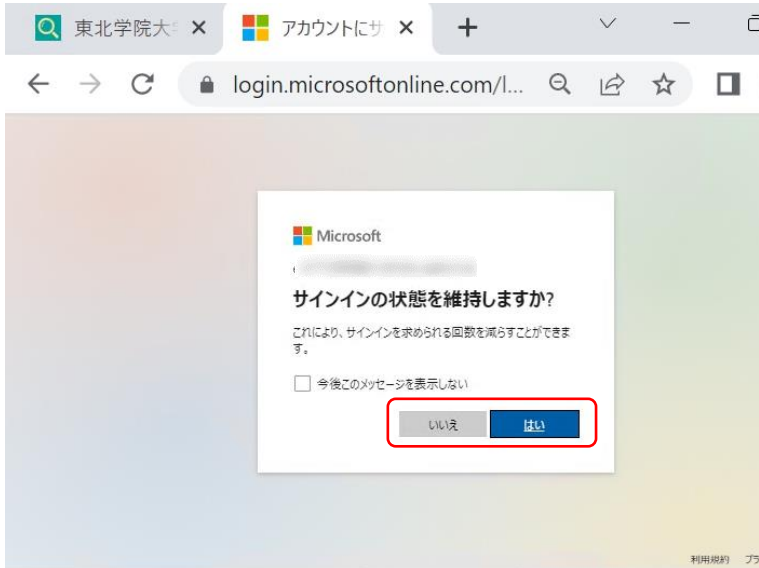
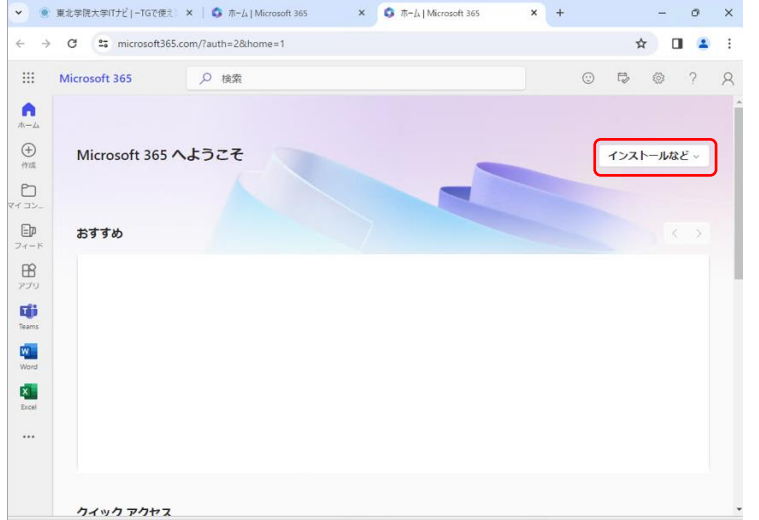



5) 認証画面が表示されますので、統合認証アカウントでログインしてください。

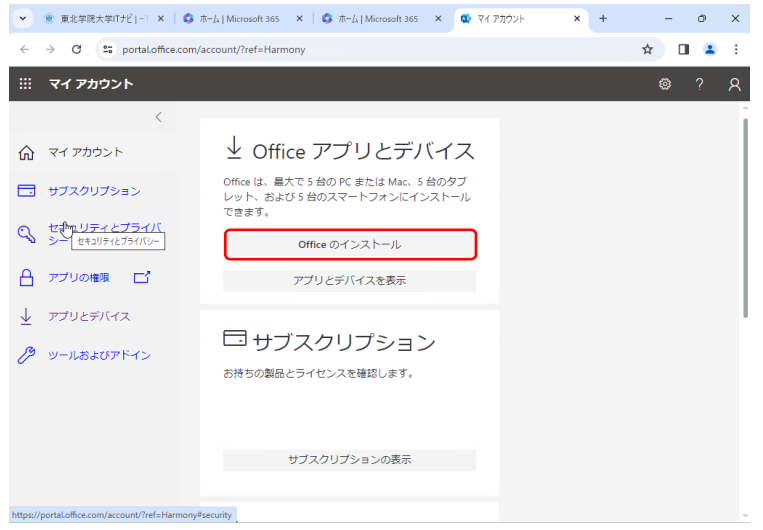
詳細な手順については、以下 WEB サイトをご確認ください。

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/itnavi/services/account/>



<p>6) 「サインインの状態を維持しますか?」の画面が表示される場合があります。その際は「いいえ」と「はい」の選択はどちらでも構いませんのでいずれかをクリックします。</p> <p>※「はい」を選ぶと Web サイトでの Microsoft アカウントのログイン頻度が減ります。</p>	
<p>7) 「Microsoft 365 へようこそ」画面の「インストールなど」をクリックします。</p> <p>※ブラウザのパスワードの記憶の設定が表示された場合は、任意となります。</p>	
<p>8) 「Microsoft 365 アプリをインストールする」をクリックします。</p>	

- 9) 「Office アプリとデバイス」の「Office のインストール」をクリックします。



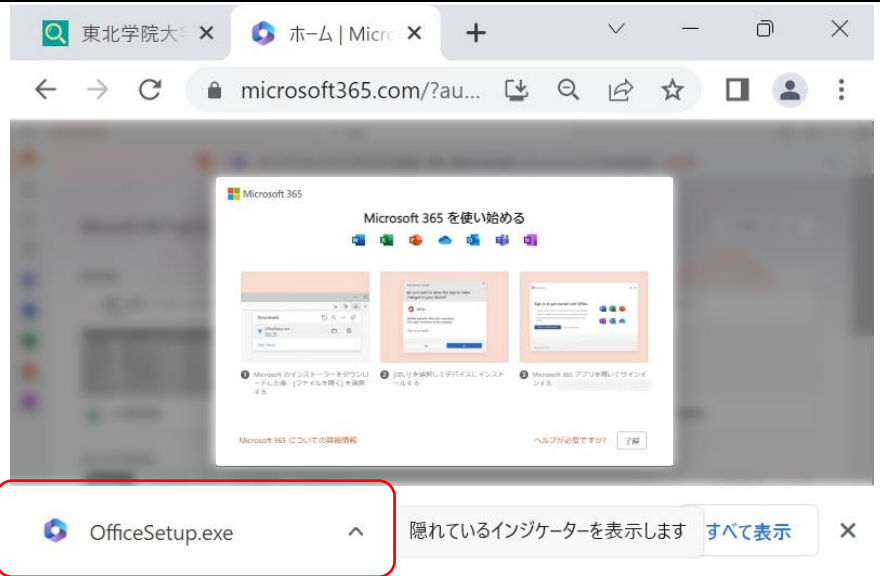
### 3. デスクトップ版の Office アプリのインストールと初期設定 (Windows PC)




本章は、Windows11 の Chrome 画面を使って説明します。

「2. デスクトップ版の Office アプリのダウンロード (Windows PC、mac 共通)」の続きになります。

#### 3.1. デスクトップ版の Office アプリのインストール (Windows PC)

- 1) 「Microsoft 365 を使い始める」が表示されますので、以降の手順が表示されますのでご確認ください。
- 2) ダウンロードが終了したらファイルをクリックします (ブラウザによってイメージが異なります。)



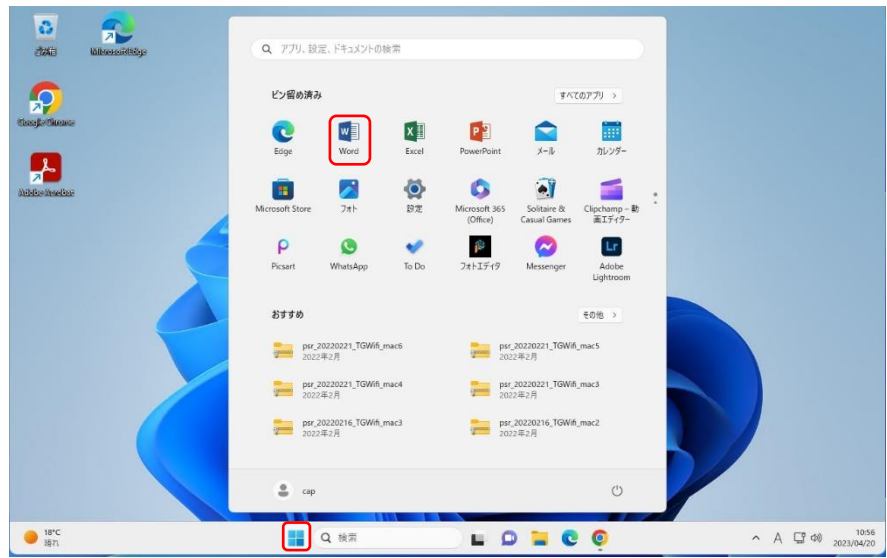
<p>3) ユーザーアカウント制御が表示された場合は、変更を加えること「はい」をクリックし、許可します。</p> <p>※PCの管理者権限がない場合は管理者権限をもつユーザーのパスワード入力が必要となります。</p>	
<p>4) Microsoft 365 Apps のダウンロードとインストールが開始されます。</p>	
<p>5) 右図の画面が表示されたらインストールは完了です。引き続き次節の手順を行い、ライセンス認証を行います。</p>	



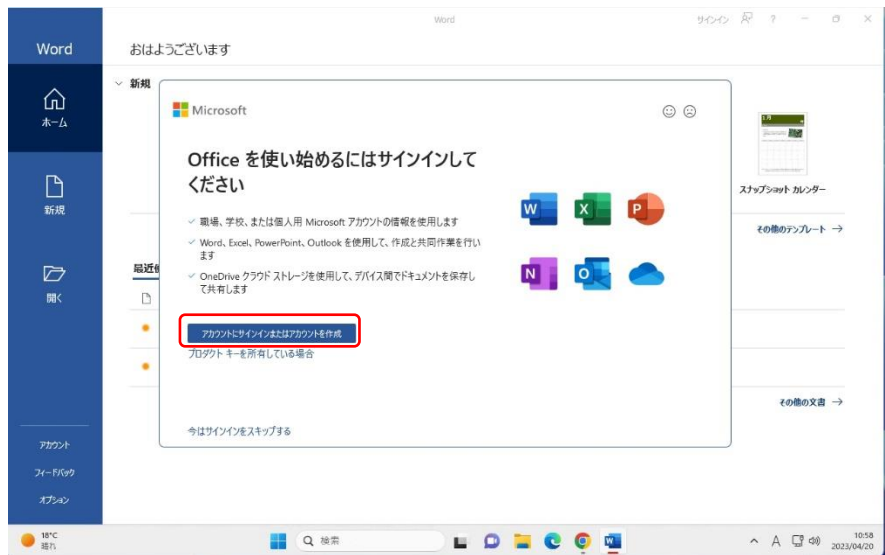
### 3.2. デスクトップ版の Office アプリのライセンス認証 (Windows PC)

1) [Windows マーク]をクリックし、[Word]をクリックし起動します。

※Office アプリのライセンス認証は、[Word]、[Excel]、[PowerPoint]いずれか1つでユーザー認証を行えば利用できる状態となります。本書では、[Word]を用いて説明を行います。

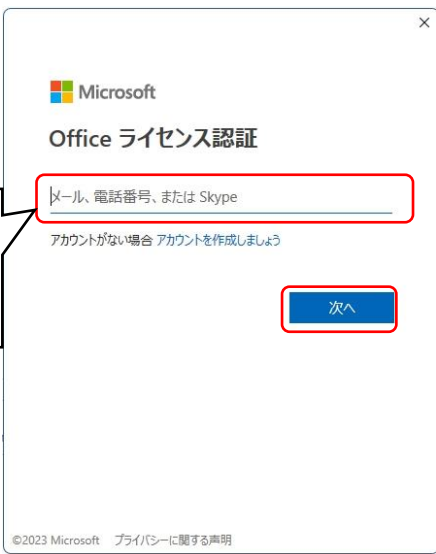


2) [アカウントにサインインまたはアカウントを作成]をクリックします。



3) 大学発行の Microsoft アカウントを入力し、[次へ]をクリックします。

利用区分	本学発行Microsoftアカウント
学生	{統合認証アカウント}@m.tohoku-gakuin.ac.jp
教職員	{統合認証アカウント}@m.tohoku-gakuin.jp



4) 認証画面が表示されますので、統合認証アカウントでログインしてください。

詳細な手順については、以下 WEB サイトをご確認ください。

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/itnavi/services/account/>



5) [アカウント]をクリックします。

①認証ユーザー確認

大学発行の Microsoft アカウントになっているか確認します。

②ライセンス認証確認

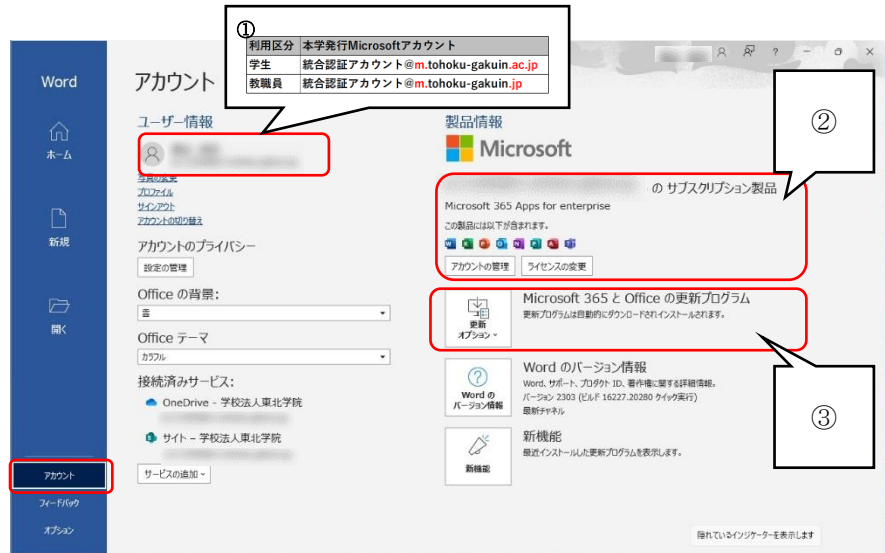
【初期ライセンス認証が成功している状態】となっていることを確認します。

③自動更新設定の確認

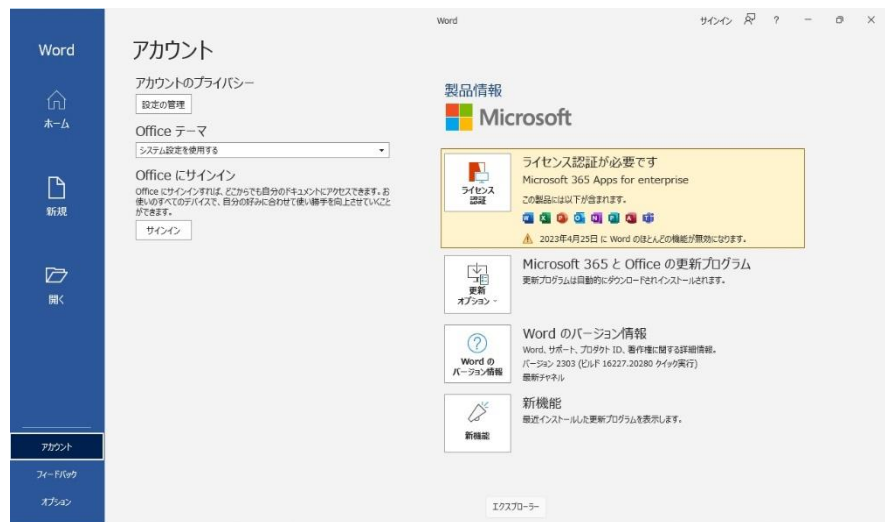
更新プログラムが自動になっていることを確認します。(自動更新になっていない場合は、③のアイコンをクリックし自動更新を有効化します。)

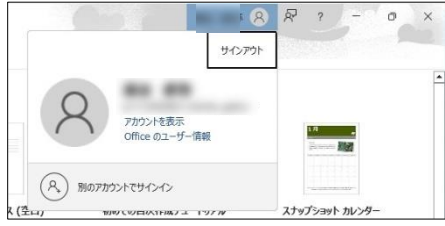
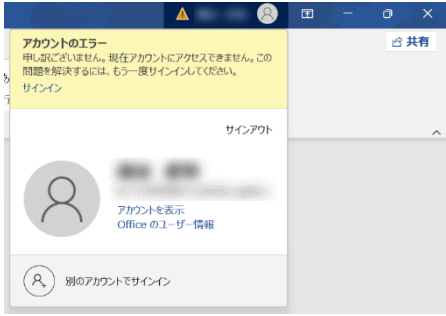
※[アカウント]の確認方法はバージョンや画面サイズで異なる場合があります。  
 \* [ファイル] -> [アカウント]  
 \* [ファイル] -> [その他] -> [アカウント]

【初期ライセンス認証が成功している状態】



【初期ライセンス認証未実施の状態】



<p>6) ユーザー認証状態を確認し、アカウントエラーが出てなければライセンス認証は完了です。</p> <p>※アカウントエラーとなった場合は、再度サインインを行ってください。</p> <p>(本節(3)-(5)手順参照)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>■ 認証済の表示</p>  </div> <div style="width: 48%;"> <p>■ アカウントエラーの表示</p>  </div> </div> <p>【アカウントエラーが解決しない場合】</p> <p>サインインを何度か行ってもライセンス認証ができない場合は、次のいずれかの手順を行うことをご検討ください。</p> <p>「5.1. デスクトップ版の Office アプリ (Windows PC) の再認証ができない」</p>
---	--

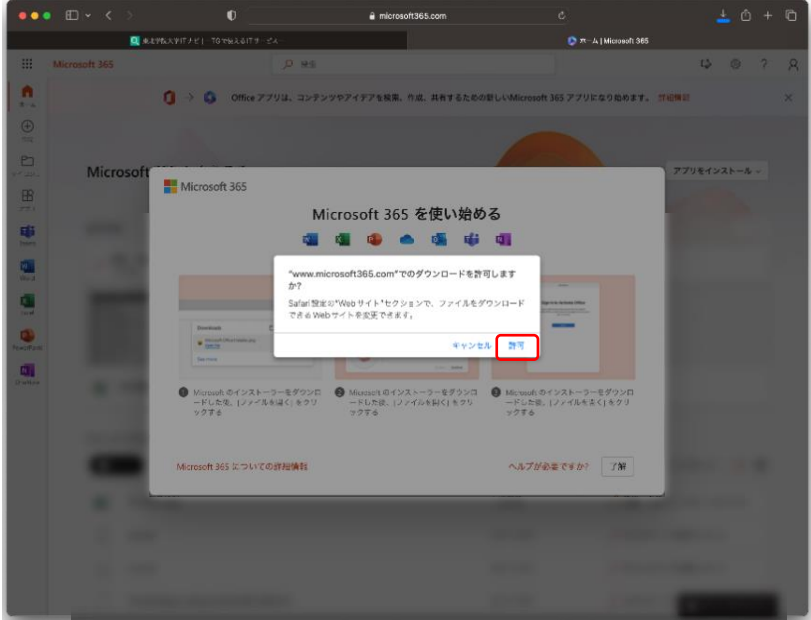
**4. デスクトップ版の Office アプリのインストールと初期設定 (mac)**

本章では、macOS Ventura 13.3.1 の画面を使って説明します。

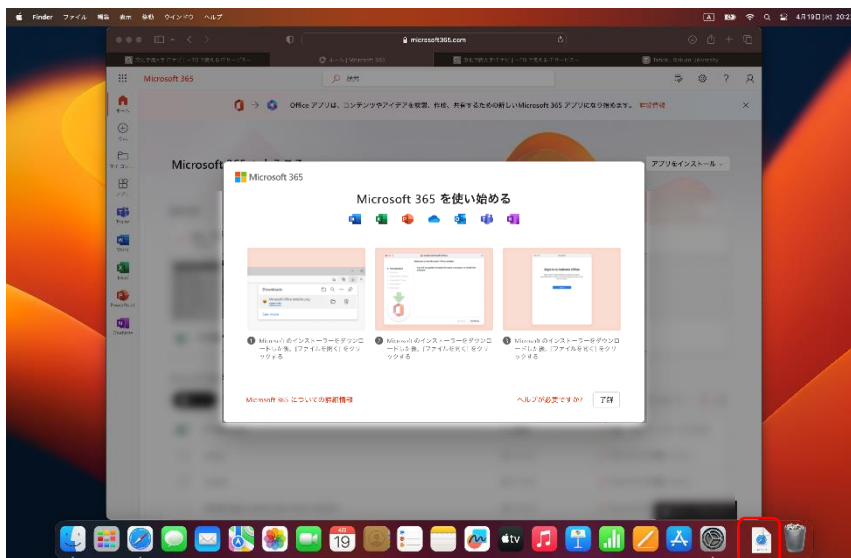
「2.1. デスクトップ版の Office アプリのダウンロード (Windows PC、mac 共通)」の続きになります。

**4.1. デスクトップ版の Office アプリのインストール (mac)**

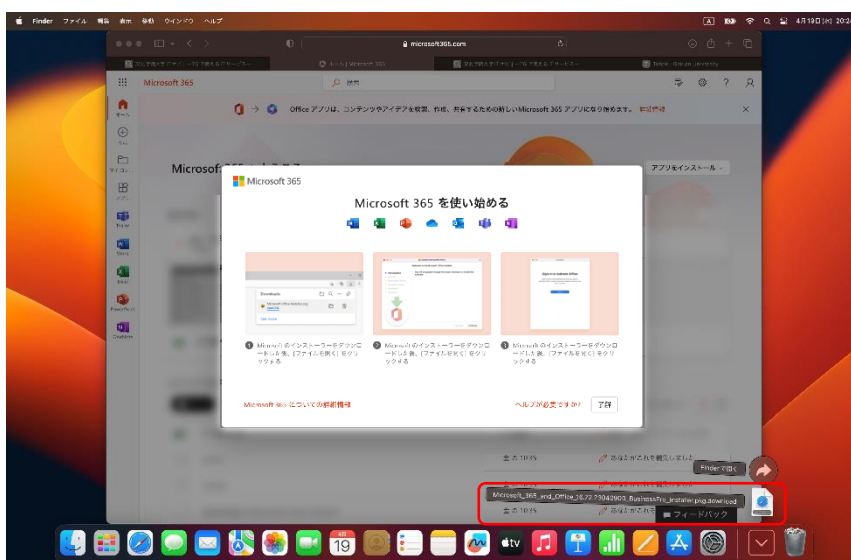
「2.1. デスクトップ版の Office アプリのダウンロード (Windows PC、mac 共通)」の続きになります。

<p>1) 「Microsoft 365 を使い始める」が表示されますので、ダウンロードの[許可]をクリックします。</p>	
--	--

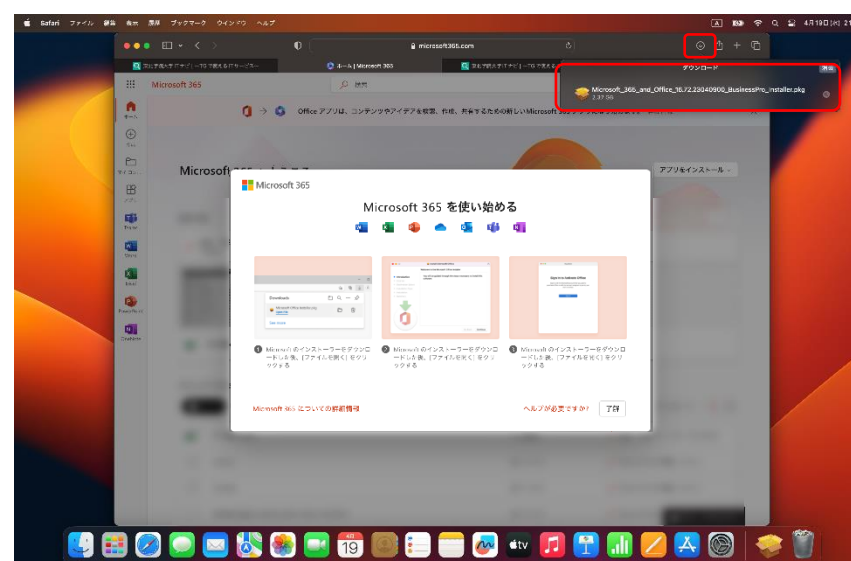
2) 画面右下のダウンロード用のアイコンが表示されるのでクリックします。

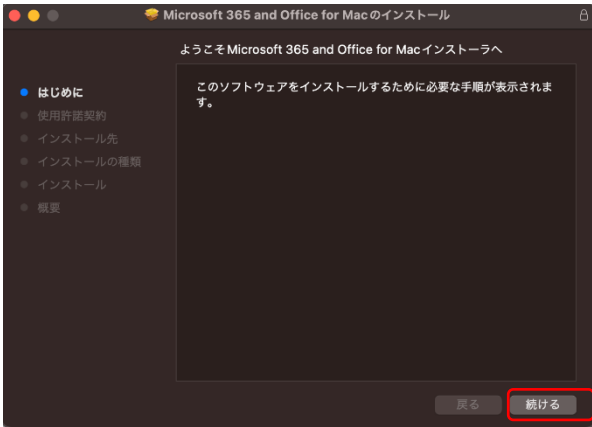
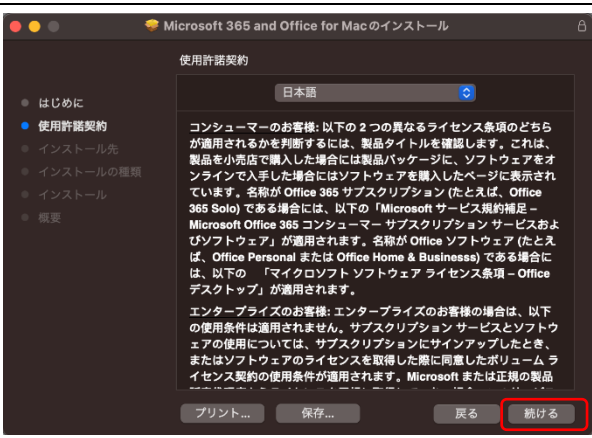
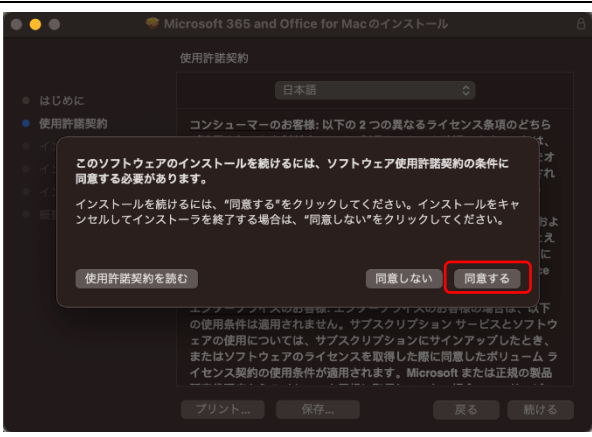
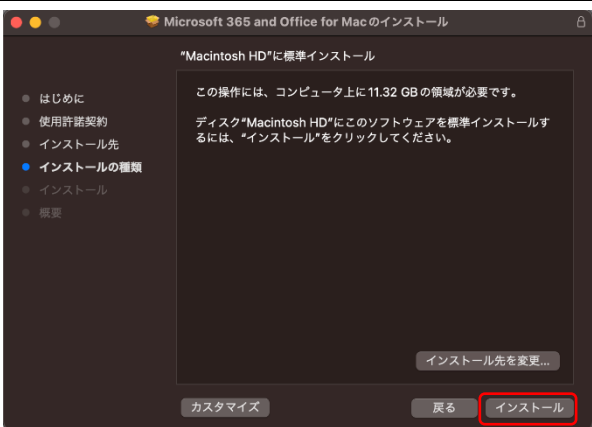


3) ダウンロード実行用のファイルをクリックします。(ファイル名は画面と異なる場合があります。)




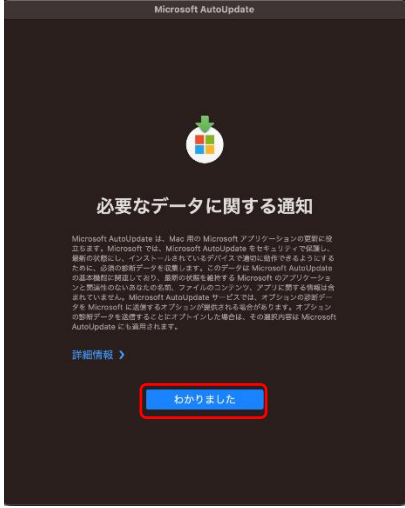

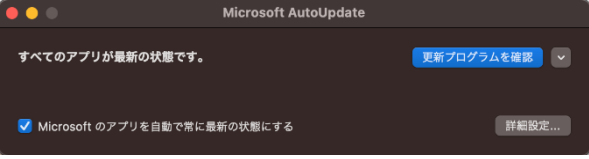
4) ダウンロードはしばらく時間がかかります。ダウンロード完了後にダウンロードファイルをクリックします。




<p>5) [続ける]をクリックします。</p>	
<p>6) 使用許諾契約を確認し、[続ける]をクリックします。</p>	
<p>7) [同意する]をクリックします。</p>	
<p>8) [インストール]をクリックします。</p>	

<p>9) [パスワードを使用]をクリックします。</p>	
<p>10) mac のログインユーザーの ID とパスワードを入力し[ソフトウェアをインストール]をクリックします。</p>	
<p>11) フォルダ内のファイルにアクセスすることを許可するため、[OK]をクリックします。</p>	
<p>12) インストールが完了したら、[閉じる]をクリックします。</p>	



<p>13) インストーラの削除の確認が表示されたら、 [ゴミ箱に入れる]をクリックします。</p>	
<p>14) Microsoft AutoUpdateが起動するので、[わかりました]をクリックします。</p>	
<p>15) リフレッシュボタンをクリックし、更新がある場合は[更新]をクリックします。</p>	
<p>16) 「すべてのアプリが最新の状態です。」と表示されたらインストールは完了です。引き続き次節の手順を行い、ライセンス認証を行います</p>	

## 4.2. デスクトップ版の Office アプリのライセンス認証 (mac)

<p>1) [Launchpad]をクリックします。</p>							
<p>2) [Microsoft Word]をクリックします。</p> <p>※Microsoft Outlook、Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、Microsoft OneNote、OneDrive がインストールされます。</p> <p>※Microsoft Teams もインストールされますが、大学発行の Microsoft アカウントでは利用できません。</p>							
<p>3) 画面左上の[サインイン]をクリックします。</p> <p>4) 大学発行の Microsoft アカウントを入力し、[次へ]をクリックします。</p>	 <table border="1" data-bbox="737 1469 1337 1626"> <thead> <tr> <th>利用区分</th> <th>本学発行Microsoftアカウント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生</td> <td>{統合認証アカウント}@m. tohoku-gakuin. ac. jp</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>{統合認証アカウント}@m. tohoku-gakuin. jp</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="842 1635 999 1675">©2023 Microsoft. プライバシーに関する情報 &lt; 戻る</p>	利用区分	本学発行Microsoftアカウント	学生	{統合認証アカウント}@m. tohoku-gakuin. ac. jp	教職員	{統合認証アカウント}@m. tohoku-gakuin. jp
利用区分	本学発行Microsoftアカウント						
学生	{統合認証アカウント}@m. tohoku-gakuin. ac. jp						
教職員	{統合認証アカウント}@m. tohoku-gakuin. jp						



5) 認証画面が表示されますので、統合認証アカウントでログインしてください。

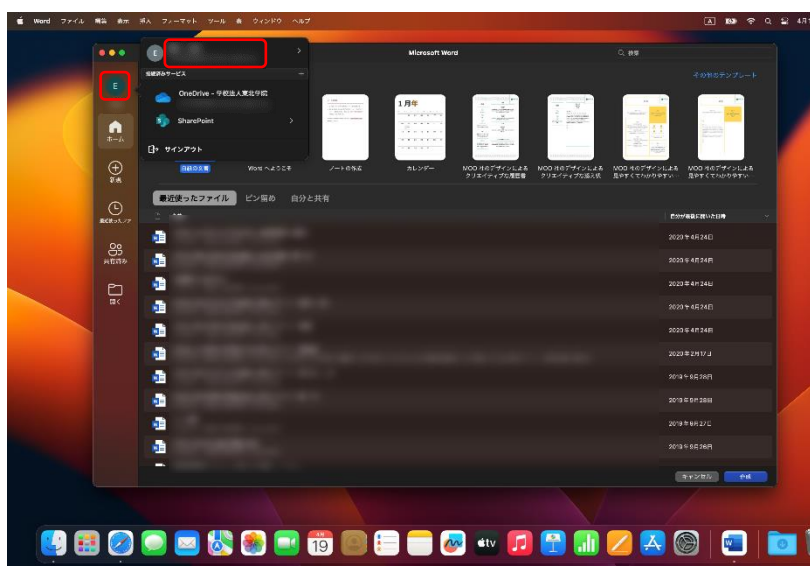
詳細な手順については、以下 WEB サイトをご確認ください。

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/itnavi/services/account/>



6) 起動した Word の左上のアイコンをクリックし、大学発行の Microsoft アカウントが表示されたら完了です。

※アカウントエラーとなった場合は、再度サインインを行ってください。



### 4.3. Office アプリのダウンロードとインストール (タブレット、モバイル)

<p>1) 利用したいタブレットやモバイル端末の OS に応じてアプリケーションをダウンロードおよびインストールを行ってください。</p> <p>※iOS は AppStore</p>   <p>※Android は GooglePlay</p>   <p>ダウンロード用アプリでの検索に不安がある場合は、右記のリンクからも Office アプリのダウンロードページに移動できます。</p>	<p>◎Microsoft 365 (Office)</p> <p>Word、Excel、PowerPoint がセットになったアプリ</p>  <p>◎Microsoft Word、Excel、PowerPoint、Outlook、OneNote</p>  <p>※利用したいアプリを利用者判断でダウンロードし、ご利用ください。</p> <p>■iOS</p> <p><a href="https://www.microsoft.com/ja-JP/microsoft-365/mobile/microsoft-365-mobile-apps-for-ios">https://www.microsoft.com/ja-JP/microsoft-365/mobile/microsoft-365-mobile-apps-for-ios</a></p> <p>■Android</p> <p><a href="https://www.microsoft.com/ja-JP/microsoft-365/mobile/microsoft-365-mobile-apps-for-android">https://www.microsoft.com/ja-JP/microsoft-365/mobile/microsoft-365-mobile-apps-for-android</a></p>						
<p>2) インストール後、アプリを起動し、大学発行の Microsoft アカウントでサインインし、ご利用ください。</p>	<table border="1" data-bbox="587 1285 1257 1397"> <thead> <tr> <th>利用区分</th> <th>本学発行Microsoftアカウント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学生</td> <td>{統合認証アカウント}@m.tohoku-gakuin.ac.jp</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>{統合認証アカウント}@m.tohoku-gakuin.jp</td> </tr> </tbody> </table> <p>※手順は、WindowsPC や mac のライセンス認証を参考としてください。</p>	利用区分	本学発行Microsoftアカウント	学生	{統合認証アカウント}@m.tohoku-gakuin.ac.jp	教職員	{統合認証アカウント}@m.tohoku-gakuin.jp
利用区分	本学発行Microsoftアカウント						
学生	{統合認証アカウント}@m.tohoku-gakuin.ac.jp						
教職員	{統合認証アカウント}@m.tohoku-gakuin.jp						

### 4.4. ChromeOS (ChromeBook) での Office アプリの利用について

2023 年 4 月現在、ChromeOS での Office アプリの利用はサポートされていません。

「2. デスクトップ版の Office アプリのダウンロード (Windows PC、mac 共通)」の手順(1)-(7)を行い、(8) 左端に表示されている「Office Web アプリ」をご利用ください。

<Microsoft 公式: Chromebook で Microsoft Office にアクセスする方法>

<https://support.microsoft.com/ja-jp/office/chromebook-で-microsoft-office-にアクセスする方法-32f14a23-2c1a-4579-b973-d4b1d78561ad>

**5. <参考情報>トラブル対応集**

**5.1. デスクトップ版の Office アプリ (Windows PC) の再認証ができない**

大学配付 Microsoft アカウントを利用して Office アプリの再認証をしているにも関わらず、ユーザー認証が行われず、ライセンス認証が失敗する場合は、以下の手順をお試しください。なお、本手順は本学相談実績における解決した事例の 1 つであるため、解決しない場合もあることをご了承の上、お試しください。

<p>1) [Windows マーク]をクリックし、 [設定]をクリックし起動します。</p> <p>※Office アプリ開いている場合は、一旦すべて閉じてから本手順を行ってください。</p>	
<p>2) [アカウント]をクリックします。</p>	
<p>3) [職場または学校へのアクセス]をクリックします。</p>	

4) [職場または学校アカウントを追加]の下に大学発行の Microsoft アカウントが表示されているか確認します。

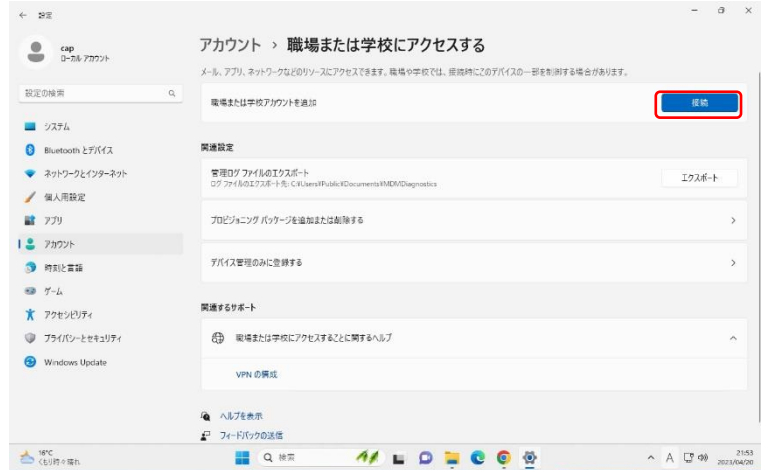
■大学配付の Microsoft アカウントが「表示されていない場合」⇒5)の手順を行います。

■大学配付の Microsoft アカウントが「表示されている場合」⇒5)～7) をスキップし 8) の手順を行います。

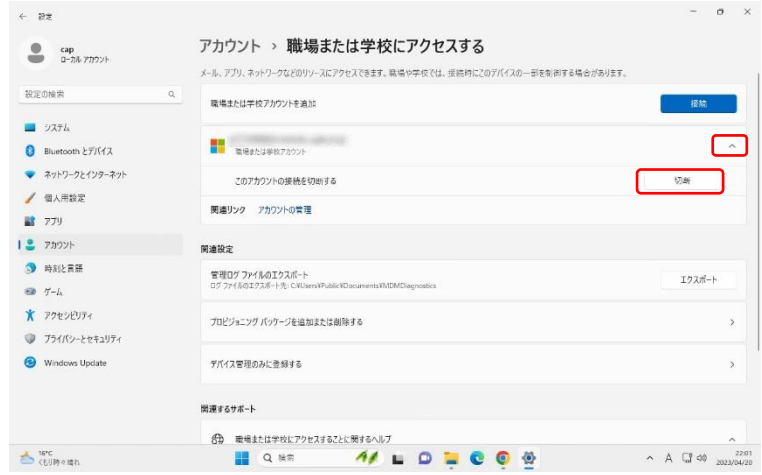


5) [接続]をクリックし、「職場または学校アカウントのセットアップ」に大学配付の Microsoft アカウントを入力し、[次へ]をクリックします。  
6) 統合認証アカウントの ID と PW を入力します。  
7) [完了]をクリックします。

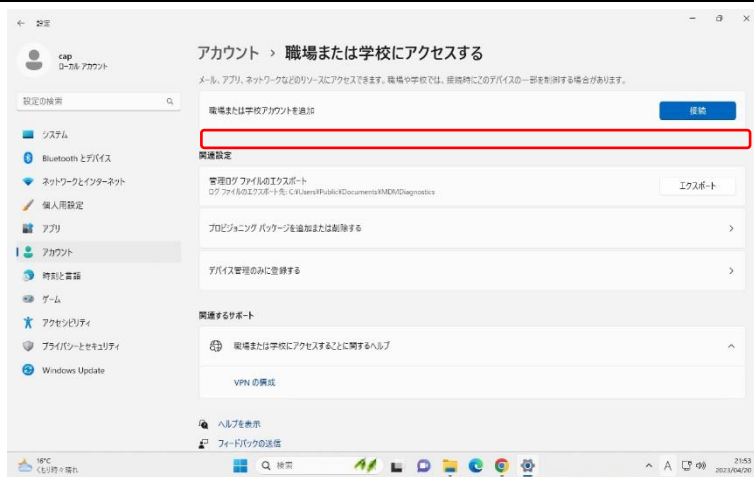
引き続き 8) の手順を実施します。



8) [職場または学校アカウントを追加]の下に表示されている。大学発行の Microsoft アカウントの [V]のアイコンをクリックし、[切断]をクリックします。  
9) [はい]をクリックします。

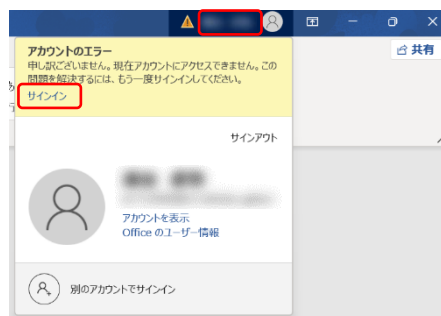


10) [職場または学校アカウントを追加]の下に大学発行の Microsoft アカウントが表示されていないことを確認します。



11) Word アプリを起動し、画面右上の [アカウント名] をクリックし、[サインイン] を再度実施し、事象が回復するか確認してください。

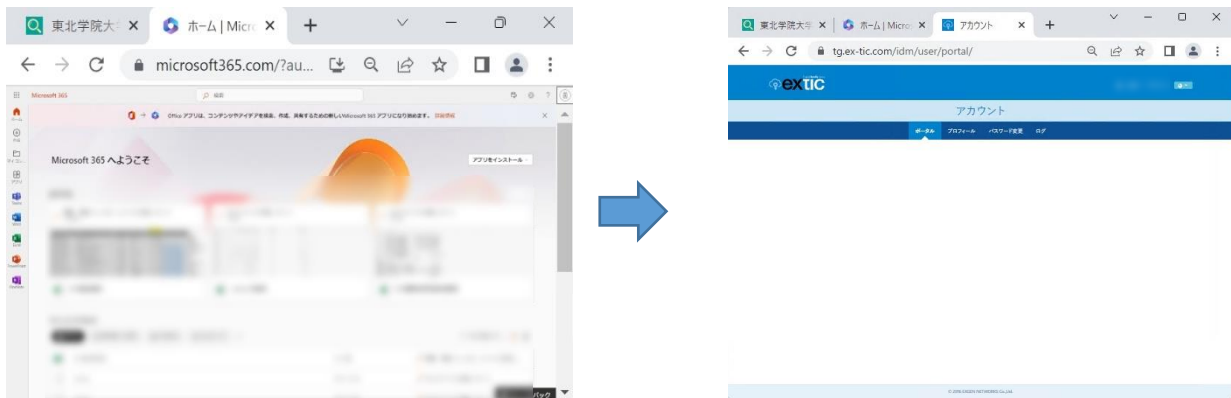
※Word アプリ実行時、別のウインドウが表示され、認証を求められた場合はそこから認証を試しても構いません。



## 5.2. Microsoft365 の WEB サイトでブラウザの「戻る」機能利用時の動作について

以下の Microsoft365 の WEB サイト「<https://www.microsoft365.com/>」について、Microsoft アカウントの認証と、大学の統合認証を行っているため、認証後の TOP ページ画面において「戻る」「←」「△」等のブラウザの「戻る」機能を利用すると「Microsoft アカウント認証エラー画面」や「統合認証アカウントの WEB サイト」が表示される場合があります。

### ■事象:ブラウザの「戻る」機能を利用した場合の挙動について



### ■対処方法：

「Microsoft アカウント認証エラー画面」や「統合認証アカウントの WEB サイト」が表示された場合、その WEB ページを閉じてください。

#### ■補足：統合認証アカウントの WEB サイト

■このサイトは本来、「**統合認証アカウントのパスワードを変更**」するためのサイトです。  
⇒本サイトが意図せず、表示された際に誤ってパスワードを変更してしまうと、学内で統合認証アカウントを利用しているすべてのサービスのパスワードが変更となりますので、注意してください。

(当該ページが表示されただけでは、パスワードは変更されません。「パスワード変更」リンクを選択し、さらに必要事項を入力し設定を保存しなければ、パスワードは変更されません。)

意図せずパスワードを変更してしまった方は以下サイトをご確認ください。

<東北学院大学 IT ナビ～統合認証アカウント～>

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/itnavi/services/account/>

⇒変更したパスワードがわかる方＝「パスワード変更」手続き

⇒変更したパスワードがわからない方＝「パスワード再発行」手続き

### 5.3. OneDrive の同期に関する問題について

OneDrive は、個人無償用、個人有償用、職場または学校用などライセンス体系が様々あります。これらの利用は OneDrive を利用する Microsoft アカウントがどのライセンスが紐づいているかによって変わりますので利用の際は、OneDrive で利用している Microsoft アカウントを認識する必要があります。

#### ◎個人無償用 Microsoft アカウント

OneDrive を無償で 5GB まで利用できます。

<Microsoft アカウント>

<https://account.microsoft.com/account?lang=ja-jp>

※Windows11 の WindowsPC 初期設定時に意図的に設定をしない限り、OS ユーザーを新規で作成すると、このタイプの Microsoft アカウントで作成されます。このように大学発行の Microsoft アカウントを利用しようと思っても意図せず複数の Microsoft アカウントを利用していることがあるので、OneDrive が個人無償用 Personal 用か、大学用を判別する必要があります。

※本学発行 Microsoft アカウント用の OneDrive イメージ図⇒ 

※この Microsoft アカウントは初期設定次第でデスクトップやドキュメントの領域が同期されているように表示される場合もありますが、個人無償用 Microsoft アカウントの OneDrive に同期されている場合がありますので同期先をご確認ください。

#### ◎大学発行の Microsoft アカウント

OneDrive を 1TB まで利用できます。

利用区分	本学発行Microsoftアカウント
学生	{統合認証アカウント}@m.tohoku-gakuin.ac.jp
教職員	{統合認証アカウント}@m.tohoku-gakuin.jp

#### ■OneDrive で認証エラー時の対応策

①Microsoft アカウントと統合認証アカウント・パスワードが正しいものか再度ご確認ください。

※メモ帳や Word を利用し、入力内容を視認し、その文字列をコピーで張り付けることでタイプミスを防ぐことで、入力ミスによるログイン失敗を抑制できます。

② ①で認証が失敗する場合は、認証画面を一度閉じてから再度認証を試みてください。

③ ②で認証が失敗する場合は、Microsoft365 サービスの正常性（障害情報等）を確認してください。

<microsoft365 のサービス正常性 : <https://portal.office.com/servicestatus>>

※解決しない場合は、サポート窓口<東北学院大学 IT ナビ参照>にご相談ください。

#### ■OneDrive で同期に関する問題の対応策

OneDrive の同期失敗には様々な要因があります。大学発行の Microsoft アカウントでこの事象が発生した際は、以下の Microsoft 公式サイト記載内容を内容で解決できるか確認してください。

##### ・OneDrive の同期に関する問題を解決する

<https://support.microsoft.com/ja-jp/office/onedrive-の同期に関する問題を解決する-207e983e-146d-404c-a994-672ef29e1f90>

##### ・職場または学校用の OneDrive で同期接続を修復する

<https://support.microsoft.com/ja-jp/office/職場または学校用の-onedrive-で同期接続を修復する-21aac895-9f32-4e3e-a75a-6f12824f0975>

※「ライブラリの同期を開始する」の画面は現在表示されません画面左下の「従来の OneDrive に戻す」をクリックしてから同期を選択してください。



**6. <参考情報>その他**

**6.1. Window 11 のローカルアカウント作成（追加）**

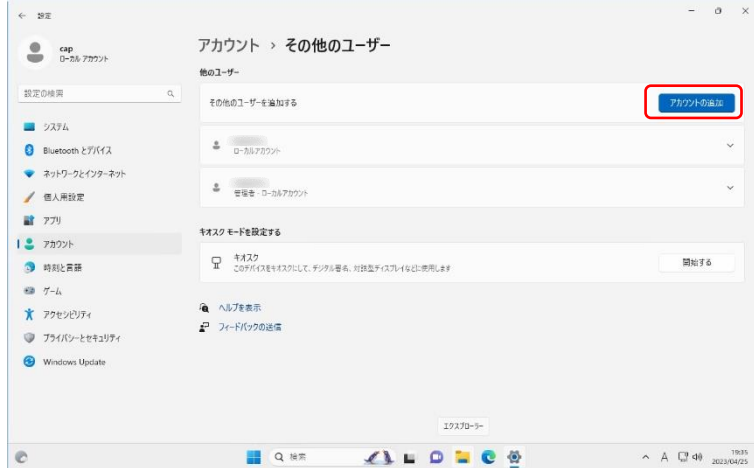
Windows OS のサインイン用ユーザーを本学発行の Microsoft アカウントで作成していた場合や Office アプリ認証エラーが解決できない場合は、以下の手順の実施を検討してください。

個人 PC の利用に掛かる内容であるため、利用者本人の判断および責任で実施をご検討ください。

<p>1) [Windows マーク]をクリックし、 [設定]をクリックし起動します。</p>	
<p>2) [アカウント]をクリックします。</p>	
<p>3) [他のユーザー]をクリックします。</p> <p>※OS ログインで利用したユーザーが管理者権限を持っていない場合は表示されませんので、管理者権限をもつ OS ユーザーにサインインしなおしてください。</p>	

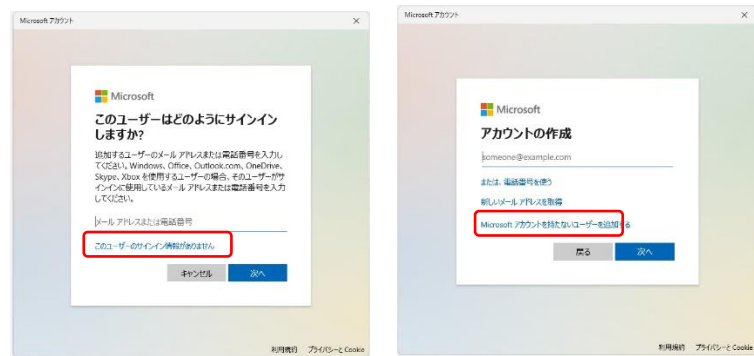


4) [アカウントの追加]をクリックします。



5) [このユーザーのサインイン情報がありません]をクリックします。

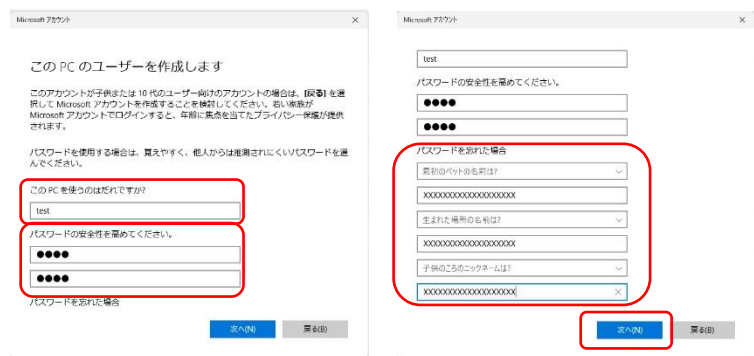
6) [Microsoft アカウントを持たないユーザーを追加する]をクリックします。



7) [この PC を使うのはだれですか?]に OS サインイン用の任意のユーザー名を設定します。

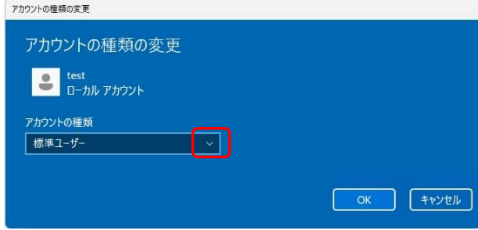

8) [パスワードの安全性を高めてください。]に OS サインイン用の任意のユーザーのパスワードを設定します。

9) [パスワードを忘れた場合]の設定を 3 つ任意で選択および入力し、[次へ]をクリックします。



10) 作成したローカルアカウントの [V]をクリックし、[アカウントの種別の変更]をクリックします。



<p>11) [アカウントの種類]の[V]をクリックします。</p>	
<p>12) [管理者]を選択し、[OK]をクリックします。</p> <p>※一般権限での利用を希望する場合は、[キャンセル]をクリックし、次の手順に進んでください。</p>	
<p>13) Windows 11 でのローカルアカウント追加方法は本手順で終了です。</p> <p>14) サインアウトを行い、作成したローカルアカウントを選択し、設定したパスワードでサインインし利用できることを確認してください。</p>	<p>※初回サインイン後に、デバイスのプライバシー設定が表示された場合は、利用者の任意で設定ください。</p> <p>※デバイスの検索は、Microsoft アカウントを利用するため、ローカルアカウントでは利用できません。</p>

その他参考情報：

<Microsoft 公式：Windows でローカルのユーザー アカウントまたは管理者アカウントを作成する>

<https://support.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-でローカルのユーザー-アカウントまたは管理者アカウントを作成する-20de74e0-ac7f-3502-a866-32915af2a34d>

<Microsoft 公式：Windows 10 デバイスをローカル アカウントに切り替える>

<https://support.microsoft.com/ja-jp/windows/windows-10-デバイスをローカル-アカウントに切り替える-eb7e78a9-88ee-9bc3-8f06-831b56e339fd>

## 6.2. Window 11 のローカルアカウント作成（新規）

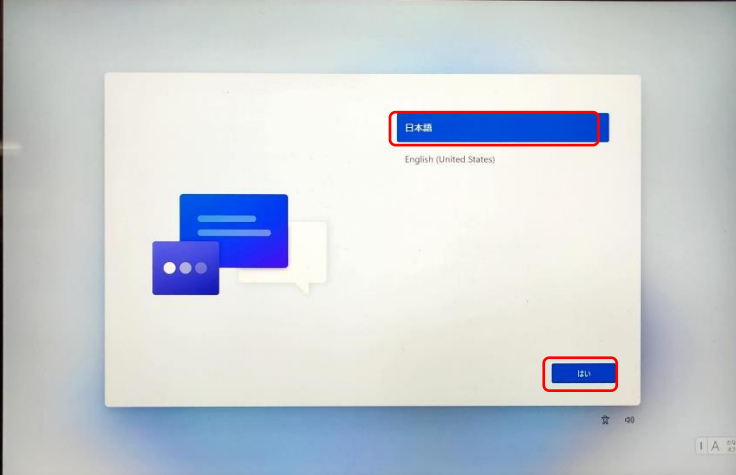
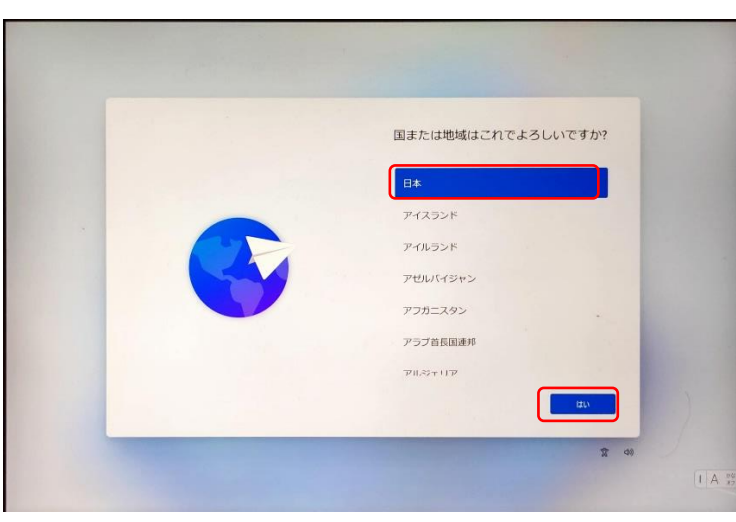
本節では、Windows11 の初回セットアップでのローカルアカウントの作成方法を記載します。

Windows11 の初期セットアップでは、OS で利用するユーザーの作成方法が Microsoft アカウントを作成するよう誘導されます（特定の操作を行わないとローカルアカウントを作成できない場合があります）。

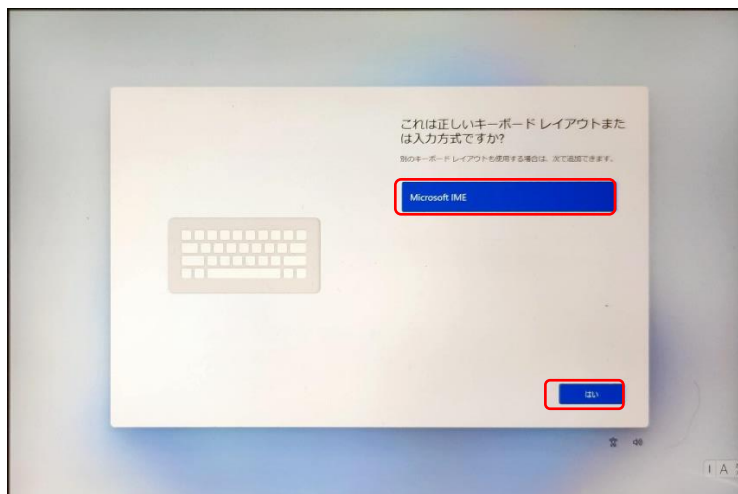
これは Microsoft アカウントの OneDrive 機能等を利用できるという、Microsoft アカウントサービスの恩恵を得られる反面、意図せず個人作成の Microsoft アカウントの OneDrive にデータをアップロードするケースや、OS ユーザーの個人作成の Microsoft アカウントと Office アプリの大学発行 Microsoft アカウントが異なることで利用者がアカウントを使い分ける必要性が発生します。

学内事例では Office アプリの再認証時に大学発行 Microsoft アカウントの ID とパスワードが間違っていないにも関わらず認証ができなくなるケースが多く発生しておりますが、そのケースは OS ユーザーが個人作成の Microsoft アカウントであるケースが大半となっているため、サービスの恩恵だけでなく、デメリットもあるという注意点があります。

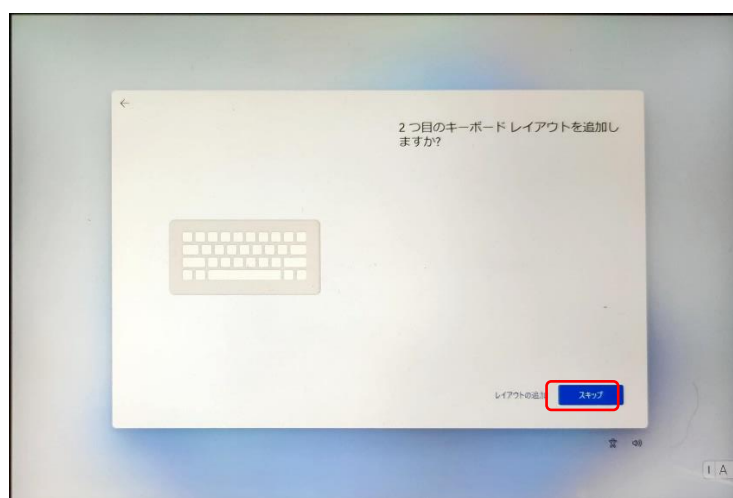
在学中の不具合を抑制するため OneDrive やメールなどの設定は必要に応じてあとから実施し、Windows11 の OS ユーザーはローカルアカウントで作成することを推奨しておりますが、個人所有の PC であるため利用者判断にて自己責任で実施ください。（PC により、購入者情報等の設定画面や PC の名前設定等が表示される場合がありますので設定方法がわからない場合は、購入元またはメーカー公開情報をご確認ください。）

<p>1) 設定する言語を選択し、[はい]をクリックします。</p> <p>※本手順では、「日本語」を選択した手順を記載します。</p>	
<p>2) 国と地域は、「日本」が選択されているのを確認し、[はい]をクリックします、</p>	

3) キーボードレイアウトは「Microsoft IME」を選択されていることを確認し、そのまま「次へ」をクリックします。



4) 2つ目のキーボードは「スキップ」をクリックします。



- 5) 現在 PC の設置環境で接続している有線 LAN や WiFi が表示されますので、利用環境により表示が変わります。
- 6) [インターネットに接続していません]が表示されているか確認します。

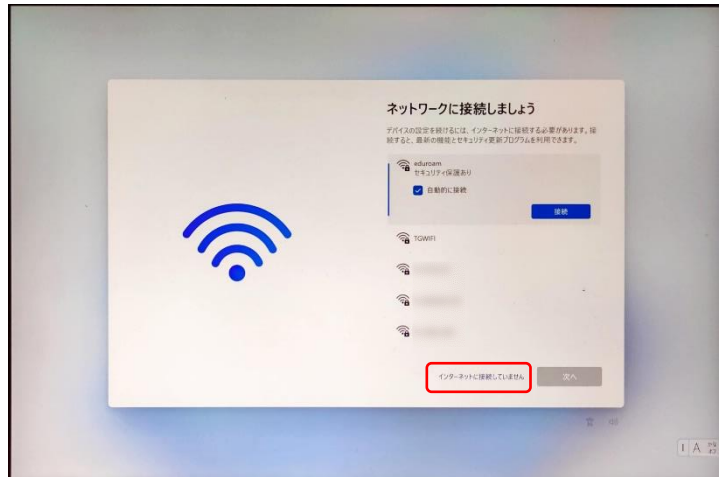
■表示されている場合

[インターネットに接続していません]をクリックし、手順 7)～9) をスキップし、10) の手順を引き続き進めてください。

■表示されない場合

手順 7) の手順を行ってください。

■ [インターネットに接続していません]が表示される画面

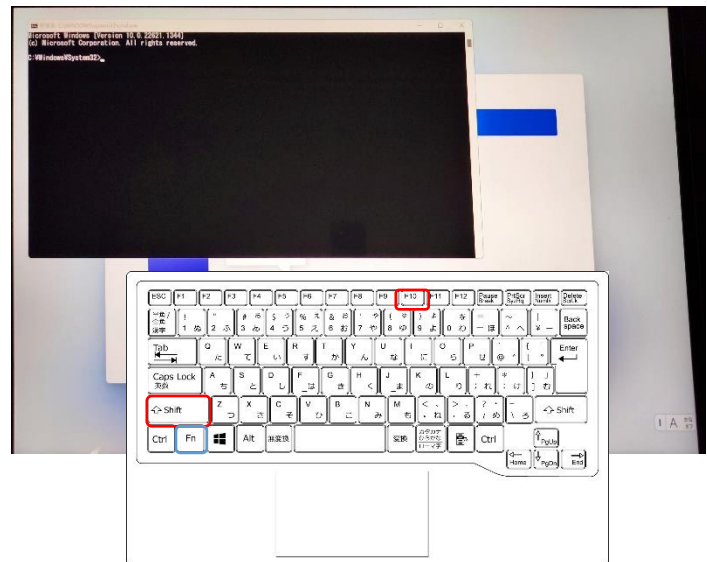


■ [インターネットに接続していません]が表示されない画面

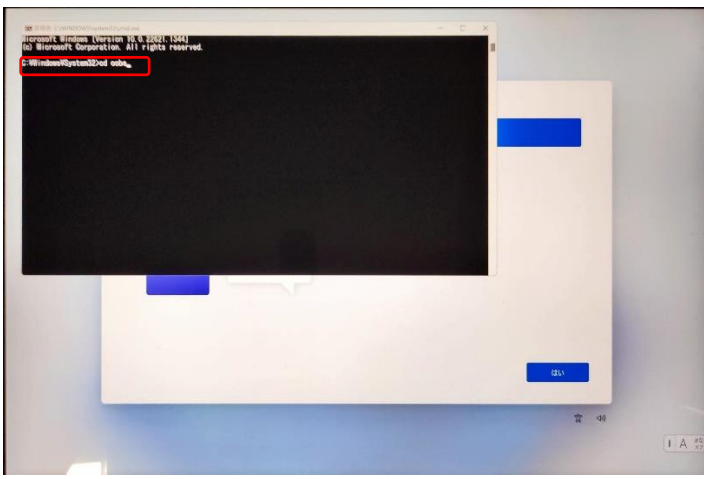
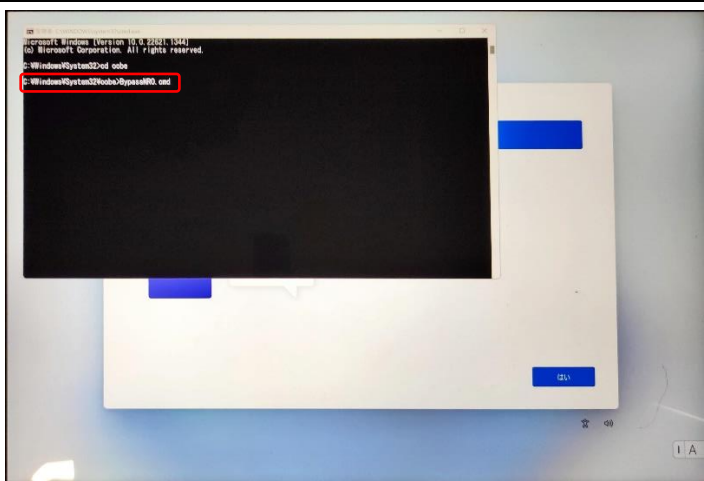



- 7) 「ネットワークに接続しましょう」の画面にて、キーボードの「Shift+F10」を同時に押してコマンドプロンプトを起動します。

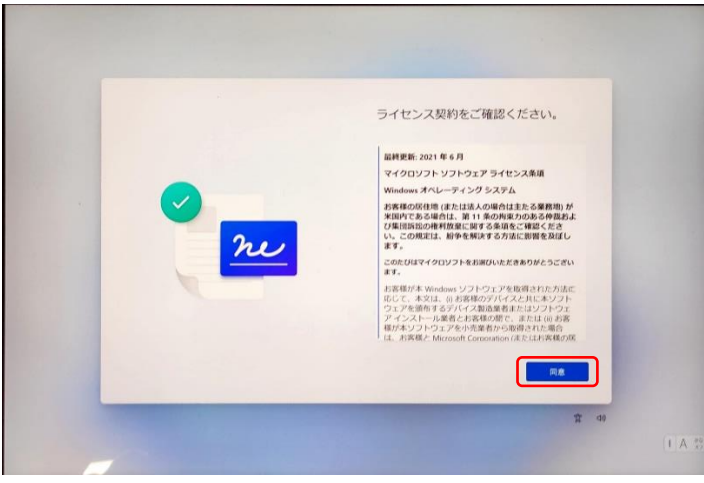
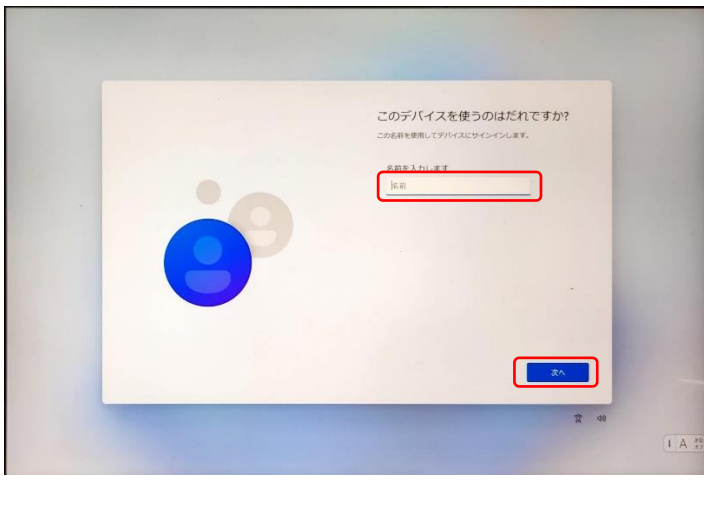
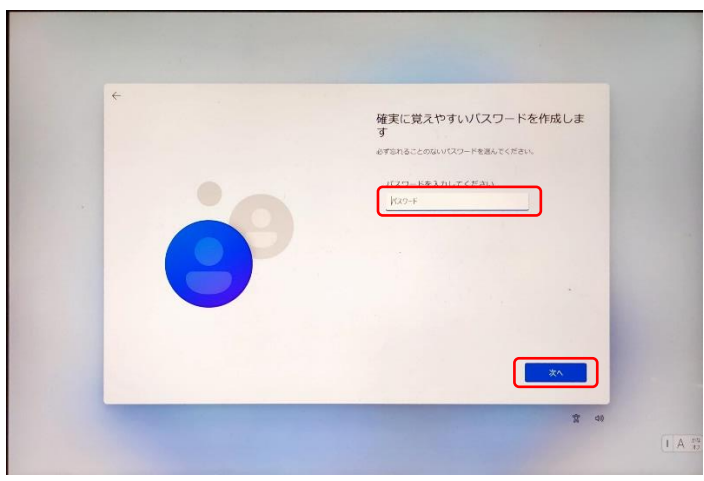
※PC のメーカーによってはファンクションキー (F1-F12) が光度や音声の変更等で利用されており機能しない場合があるので、コマンドプロンプトが起動しない場合は必要に応じて「Shift+F10+Fn」を押し、起動するかご確認ください。

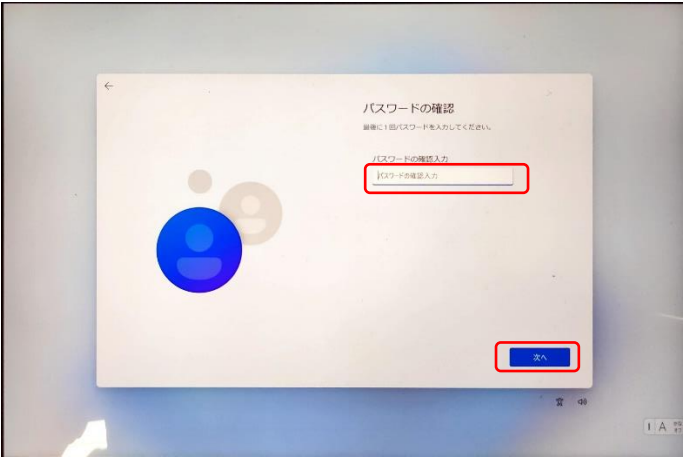
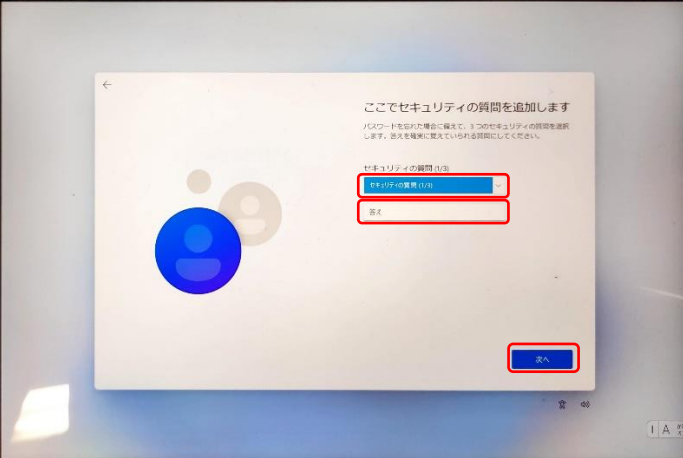
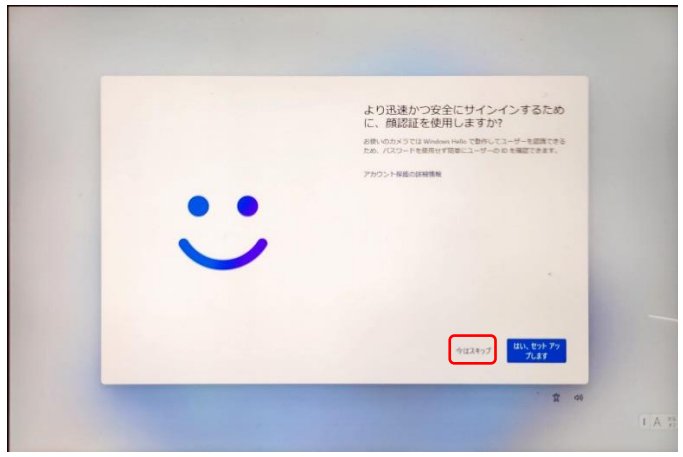


※キーボードはご使用の PC 等で変わりますので参考イメージとなります。

<p>8) コマンドプロンプトに次を入力し 「cd oobe」 Enter キーを押します。</p> <p>※cd と oobe の間は半角スペース です。</p>	 <p>A screenshot of a Windows command prompt window. The text shows 'Microsoft Windows [Version 10.0.22H2.1504] (c) Microsoft Corporation. All rights reserved. C:\Windows\System32&gt;cd oobe'. The command 'cd oobe' is highlighted with a red box.</p>
<p>9) 引き続きコマンドプロンプトに次 を入力し 「BypassNRO.cmd (0=英大文字オー)」 Enter キーを押します。</p> <p>※上記を実行すると初期セットア ップが強制的に中断され、再起動 されますので、起動後手順 1) か ら再度設定を進めてください。</p>	 <p>A screenshot of a Windows command prompt window. The text shows 'Microsoft Windows [Version 10.0.22H2.1504] (c) Microsoft Corporation. All rights reserved. C:\Windows\System32&gt;cd oobe' followed by 'C:\Windows\System32\oobe&gt;BypassNRO.cmd'. The command 'BypassNRO.cmd' is highlighted with a red box.</p>
<p>10) [制限された設定で続行]をクリッ クしてください。</p>	 <p>A screenshot of the Windows Out-of-Box Experience (OOBE) screen. It features a blue Wi-Fi icon and Japanese text: '今すぐ接続して、デバイスをすぐに使い始めましょう' and 'ネットワークに接続して Microsoft にサインインする。...'. At the bottom right, there are two buttons: '制限された設定で続行' (highlighted with a red box) and '今すぐ接続'.</p>



<p>11) [同意]をクリックします。</p>	
<p>12) 現在設定している PC にログインするためのユーザー名を利用者の任意のものを入力し、[次へ]をクリックします。</p> <p>※ユーザー名にひらがなや漢字などの全角文字を使うと仕様上不具合を起すソフトウェアもありますので、半角英数字での入力を推奨いたします。</p> <p>※ユーザー名を入力する場合もあるので、シンプルで長すぎないものをご検討ください。</p>	
<p>13) さきほど設定したユーザーにログインするためのパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。</p>	

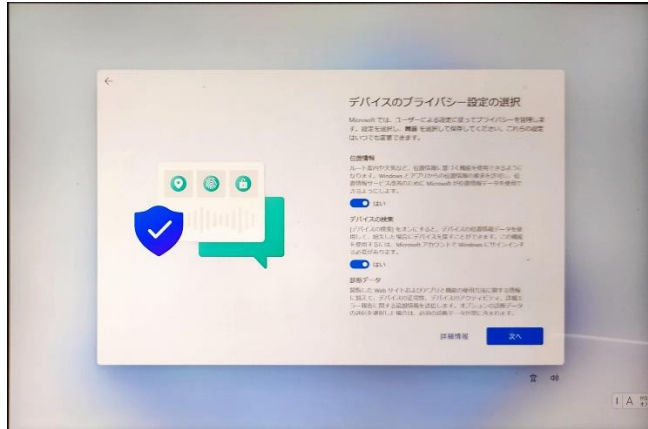
<p>14) 設定したパスワードを再度入力し、[次へ]をクリックします。</p>	
<p>15) セキュリティの質問を追加します。任意の質問とその答えを入力し、[次へ]をクリックします。この質問を 3 組設定します。</p>	
<p>16) Windows Hello は顔認証の設定になりますが、利用するかは任意となります。ご利用方法については利用者にて確認をお願いします。本手順では、[今はスキップ]をクリックします。</p>	



17) デバイスのプライバシー設定の選択については、Microsoft が PC を利用する際の情報収集等にかかる内容が表示されるので、利用者それぞれのプライバシーに対する考えに基づき任意で設定してください。

18) [デバイスの検索]を[いいえ]に変更して、スクロールで他の設定項目を確認および任意の設定を行い、[次へ]をクリックします。

※デバイスの検索は Microsoft アカウント限定の機能であるためローカルアカウントでは利用できません。



19) 設定が終わると OS の初期セットアップが完了となります。

※初期セットアップ後は必ず、ご自宅等でネットワークに接続し、Windows Update を行ってください。(参考：3.3. WindowsOS のアップデート設定) 一度で更新されない場合があるので、アップデート後、「更新プログラムのチェック」を再度実施して、最新の状態となるかを確認してください。

※ご自宅のネットワーク接続についてはサポートしておりません。



---

### 6.3. Office のインストールを非アクティブにする

---

「1.1. サービス内容」記載のとおり Office アプリのインストールにはデバイス毎に上限が設けられています。Office はサインインの制限内に収まるように、デバイスから自動的にサインアウトします。サインアウトしたデバイスで Office を使用するには、もう一度サインインしますので利用者によるデバイスの削除は不要です。

<Microsoft 公式 : Microsoft 365 でのサインインのしくみ>

<https://support.microsoft.com/ja-jp/office/microsoft-365-でのサインインのしくみ-1d646e83-1585-4278-8daf-d4a2cc0905e0#ID0EBD=signinorgid>

利用者にて Office アプリのデバイス削除を行いたい場合は、以下のサイトを参考としてください。

<Microsoft 公式 : Office のインストールを非アクティブにする>

<https://support.microsoft.com/ja-jp/office/office-のインストールを非アクティブにする-767e3560-96ed-4b1c-806d-2fe01c529b1b>

※Microsoft 365 for business